

国際度量衡中央事務局分担金

令和4年度概算要求額 1.5億円（1.5億円）

事業の内容

事業目的・概要

- メートル条約（1885年、日本加盟）に基づき設置された国際度量衡中央事務局（BIPM）の活動に必要な経費のうち、日本に課せられた分担金を負担します。
- BIPMの活動により、ものづくりの基盤技術となる計量標準について、加盟各国の計量標準の精度の同等性が保証され、それにより、物資、技術等の輸出入の円滑化が図られます。
- また、国際的な計量単位の統一の検討や計量標準の開発を実施する委員会において、我が国が積極的な参加、提案を行います。

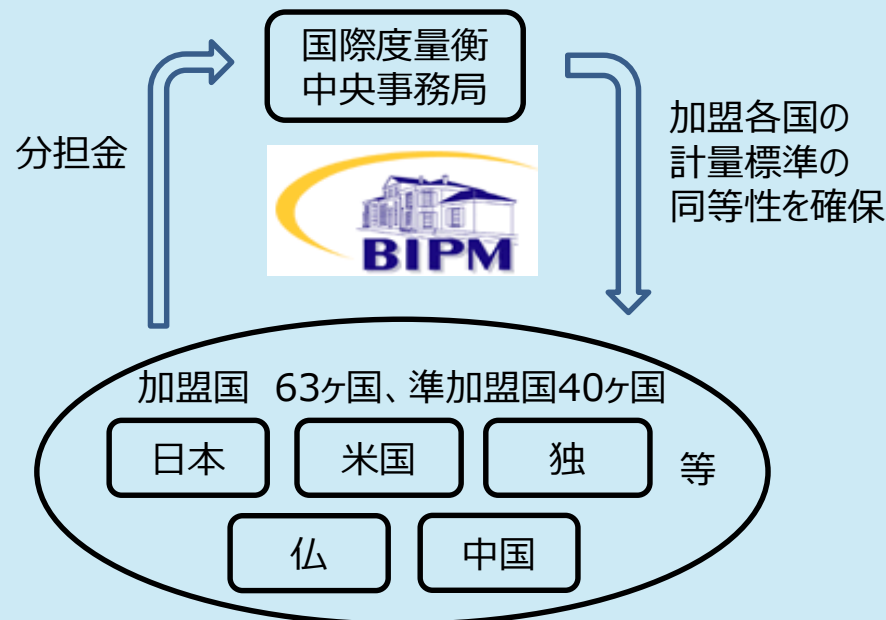
成果目標

- 明治19年度からの事業であり、計量単位の国際的統一及び我が国を含む各国の計量標準の同等性の確保等を図ることで、我が国における計量の国際的な信頼性確保に寄与することを目指します。

条件（対象者、対象行為、補助率等）



事業イメージ



（参考）BIPMの最近の主要な活動内容

- 国際単位系（SI）の改訂（キログラム（質量）等の定義改定）
- 計量標準の維持及び各国の標準器の校正並びに新たな標準の研究
- 各国の国家計量標準の相互比較の運営と比較データベース等の作成・公表
- 協定世界時の維持
- 校正情報のデジタル化に向けた取組